

都城市議会議長 様

提出日 平成30年6月1日

視 察 報 告 書

以下のとおり視察の報告をいたします。

1 会派名及び視察者名

創生クラブ 江内谷満義、永田浩一、別府英樹

無会派 岩元弘樹

2 視察先・テーマ及び日時

平成30年5月12日（土曜日）09:00～10:00

東京都台東区 台東区立中央図書館の雑誌スポンサーについて

3 視察の内容

（1）雑誌スポンサー制度について

雑誌スポンサーとは、図書館で購入している雑誌の購入費用を台東区内の企業や店舗、個人の方などに負担していただき、地域の図書館を支援する社会貢献の立場から協力をいただく制度。

図書館では、その社会貢献活動を館内の掲示板やホームページで顕彰する。
また、提供していただいた雑誌に企業、店舗などの広告を表示する。

（個人事業主を除く個人の方の広告掲載はできない）

（2）雑誌スポンサー制度の現状

平成25年2月から導入され、現在2社から15の雑誌が提供されている

4 視察の感想

現在のスポンサーの状況は、2社から15の雑誌が提供されており、スポンサーが少ないように感じたが、今後さらなる周知徹底を図ることにより、スポンサーは



増えていくと思う。

図書館も経費削減でき、スポンサーも社会貢献活動をPRできることから、双方にとって魅力ある制度だと感じた。

5 視察の成果及び市政への反映等

本市でも、今年4月28日に中心市街地中核施設「Mallmall」に図書館がオープンし、日本一の図書館との評判も高い。都城市全体で図書館をさらに盛り上げ維持していくことが課題であることから、スポンサー制度の導入を提案していき、都城市の活性化に繋げていきたい。

6 添付資料

雑誌スポンサーになりませんか？

台東区立中央図書館では、雑誌スポンサーになっていただける方を募集しています。地域のみなへの「社会貢献活動の一環」として、ぜひご協力をお願いします。

◆雑誌スポンサーとはなんですか？

「雑誌スポンサー」とは、図書館で購入している雑誌の購入費用を台東区内の企業や店舗、個人の方などに負担していただき、地域の図書館を支援する社会貢献の立場からご協力をいただく制度です。図書館では、その社会貢献活動を館内の掲示板やホームページで顕彰します。また、提供していただいた雑誌に企業、店舗などの広告を表示します。（個人事業主を除く個人の方は広告掲載できません）

◆どのような方（企業）が応募可能ですか？

台東区内の企業、商店、団体、個人の方が応募できます。
※詳しくは「台東区立図書館雑誌スポンサー制度実施要綱」をご覧ください。
（「台東区立図書館ホームページ」> 雑誌スポンサーを募集しています」に掲載しています。）

◆雑誌スポンサーになった企業や店舗などに対してどのようなことを行っていますか？

■雑誌スポンサーになっていただくこと…

- 図書館ホームページや中央図書館内の掲示板で雑誌スポンサーの方を紹介し、社会貢献活動を持え、広くPRします。署名も可能です。（右参照）
- 雑誌スポンサーが、雑誌の提供という形で社会貢献活動を行っていることを、多くの方に知っていただけるよう、企業や店舗などに貼ることができる掲示物を差し上げています。（左参照）
- 雑誌スポンサーから提供していただいた雑誌の最新号にカバーをつけて、おまて面にスポンサー名を、うら面に広告を載せています。（右下参照）

雑誌スポンサー制度を組み合わせる
（図書館掲示用掲示物）

社会貢献活動
（社会貢献活動用掲示物）

雑誌の最新号にカバーをつけて、おまて面にスポンサー名を、うら面に広告を載せています。
（広告掲載用）

◆雑誌スポンサーになった個人に対してどのようなことを行っていますか？

■雑誌スポンサーになっていただくこと…

- 図書館ホームページや中央図書館内の掲示板でスポンサーの方を紹介し、社会貢献活動を持え、広くPRします。署名も可能です。

◆提供雑誌を選ぶことはできますか？

図書館が購入している雑誌の中から選定することが可能です。希望する雑誌が他のスポンサー申込者と重複した場合には申込先着順とさせていただきます。
※「台東区立図書館雑誌スポンサー制度募集雑誌一覧」より確認することができます。
（「台東区立図書館ホームページ」> 雑誌スポンサーを募集しています」に掲載しています。）

◆申し込みはどのようにすればよいのですか？

「台東区立図書館雑誌スポンサー制度申込書」を提出していただきます。
※台東区立図書館ホームページよりダウンロード可能です。
（「台東区立図書館ホームページ」> 雑誌スポンサーを募集しています」に掲載しています。）

別途、下記の資料も併せて提出をお願いいたします。
企業の場合：会社概要等（整理等がわかるもの）
広告の掲出を希望する場合は広告案（4判までの大きさのもの）
個人の場合：本人であることを証明できる書類（健康保険証のコピー、運転免許証のコピー等）

◆申し込み後の流れはどのようにになりますか？

お申し込みを受け付け後、図書館で審査し、雑誌スポンサー決定の可否をお知らせします。雑誌スポンサーに決定した場合には、雑誌の提供に関する覚書を申込者と図書館で締結します。覚書の締結が完了した時点からスポンサーとなり雑誌の提供を開始していただきます。

◆スポンサーの期間はいつまでですか？

年度単位でスポンサーとなっていました。スポンサーとなっていたときから翌3月末までが期間となります。また、翌年以降も継続いただくことも可能です。

◆問い合わせ先

〒111-8621 台東区西浅草3-25-16
中央図書館 企画担当
TEL 5246-5911
FAX 5246-5914

都城市議会議長 様

提出日 平成30年6月1日

氏 名 岩元 弘樹

研 修 報 告 書

以下のとおり研修の報告をいたします。

1 所属会派名

無会派

2 研修名

第10回2018年度日本自治創造学会研究大会

人生100年時代の地域デザイン ～人口減少社会に向き合う地域社会～

3 受講場所

東京都千代田区 明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール

4 受講期間

平成30年5月10日（木）～平成30年5月11日（金）

5 研修内容

プログラム（1日目）

○講演

- ・人生100年時代の人作り革命

高橋 進（日本総合研究所理事長）

- ・人生100年時代の政府の取組み

菅 義偉（内閣官房長官・衆議院議員）

○パネルディスカッション

若者たちの挑戦ー人口減少社会の地域デザイン



- ・パネリスト 伊藤 文弥 (NPO 法人つくばアグリチャレンジ副代表理事)
- ・パネリスト 横山 太郎 (Co-Minkan 普及実行委員会共同代表・医師)
- ・パネリスト 李炯 植 (NPO 法人 Learning for All 代表理事)
- ・パネリスト 井上 貴至 (総務省<現在、愛媛県市町振興課長>)
- ・コーディネーター 山崎 亮 (studio-L 代表取締役)

プログラム (2 日目)

○講演

- ・これからの日本をどうする

佐々木 信夫 (中央大学名誉教授・日本国づくり研究所所長)

- ・空き家対策と活用策

伊藤 明子 (国土交通省住宅局長)

- ・日本の目指す道

新藤 義孝 (元総務大臣・衆議院議員)

- ・人口減と対峙する地方議会

北川 正恭 (元三重県知事・早稲田大学マニフェスト研究所顧問)

- ・ごちゃまぜ共生社会で創る日本の未来

雄谷 良成 (社会福祉法人佛子園理事長)

6 研修の感想

議員となり初めての研修をさせて頂いた。

この研究大会は、首長、都道府県議会議員、市区町村議会議員の約 600 名が参加している大変大きな研究大会であった。

一番印象に残ったのは、菅官房長官の、「がんばる地域は応援する」という言葉であった。

この言葉を聞き、がんばって成果をだすことは当然の責務であり、評価され応援してもらえるのは大変やりがいがあると思うが、一方で、国民全員が平等に応援し

てもらえないのかとも感じた。

パネルディスカッションでは、同世代の若者がパネリストであったため、共感を得る部分が多々あり、大変良かった。

その中で、地域活動への若者の参加がない理由として、正しいだけでは動かない、楽しい・嬉しいの興味をもたせることが必要であるとの発言であった。

若者の地域活動参加は全国共通の課題であり、地域の活性化には、いかに若者を地域に溶け込ませ、若者ががんばってもらえるかが大変重要であると感じた。

7 研修の成果及び市政への反映

日本は、健康寿命が世界一の長寿社会を迎えている。

海外の研究を元にすれば、2007年に日本で生まれた子供については107歳まで生きる確率が50%もあるので、超長寿社会に向けて何歳になっても学び直せるリカレント教育や、高齢者の労働参加率を引き上げるための問題解決や政策を進めていかなければならない。

8 添付資料

